

## 第48回 広報まつりのお知らせ

詳しくは10月頃に各幼稚園・小・中学校へお送りいたしました「募集要項」をご参照ください。現時点での応募概要は下記のとおりです。

1. 募集期間 令和7年11月14日(金)～12月26日(金)
2. 対象作品 令和7年1月～12月までに発行した広報紙(Web・PDF・すぐる配信も含む)の中から1点
3. 応募部門 ①審査部門  
審査団体毎に最優秀賞・優秀賞(予定)を決定し表彰  
②展示のみ(審査対象外)
4. 審査基準 ①「PTA活動」の紹介  
②積極的な企画性・アイデアが見られるか  
③全体(見やすさ・読みやすさ)のバランス



広報紙の貸し出しを  
行っております。

過去数年分の受賞広報紙は、PTA会員の方に貸し出しをすることができます。貸し出しをご希望される方は、札幌市PTA協議会事務局までご連絡ください。

第141号12月12日発行

# PTA さっぽろ

■編集・発行:札幌市PTA協議会 広報委員会  
■ホームページ <https://sapporo-pta.gr.jp/>  
■e-mail [shipikyo@sapporo-pta.gr.jp](mailto:shipikyo@sapporo-pta.gr.jp)  
〒063-0051札幌市西区宮の沢1-1-10  
札幌市生涯学習総合センター3F TEL. (011) 671-2371  
■印刷:株式会社OK印刷

## 札幌市PTA協議会 第48回 広報まつり

11:00～ 広報紙の  
パネル展示を  
するよ

13:00～  
キャラクターと  
写真を撮ろう

13:00～  
クイズラリー  
行こう

13:00～  
ステッカー  
プレゼント

**2026.2.22(日)** ※入場無料・入退場自由

第1部:広報まつり表彰式 11:00-12:00  
第2部:広報イベント 13:00-15:30  
(パネル展示・区キャラクター集合・クイズラリーなど)

場 所:札幌文化芸術交流センター  
2階SCARTSスタジオ1.2  
札幌市中央区北1条西1丁目

札幌市PTA協議会 広報委員会 [shipikyo@sapporo-pta.gr.jp](mailto:shipikyo@sapporo-pta.gr.jp)

## 令和7年度 札幌市PTA協議会 研修セミナー

今年度の札幌市PTA協議会研修セミナーでは、気象予報士・清水秀一さんをお迎えし、天気と防災をわかりやすく学ぶ時間をご提供します。親子で楽しめるクイズコーナーもあり、日々の備えを見直すきっかけに。参加無料・定員200組。ぜひお気軽にお申し込みください。

●日時:令和8年1月10日(土)  
●場所:ちえりあホール1階  
●開演:10:00～12:00

お申し込みは  
[こちら](#)

## 令和7年度 区P連交流会

9月22日に今年度の区P連交流会が開かれ、「TAKE OUT! 知りたい10区の今!!」をテーマに、区を越えた8グループで活発な事業企画会議が行われました。参加者からは「普段思いつかないアイデアが生まれた」「10区のつながりを実感できた」「他区の熱量や活動を知り刺激になった」など、前向きな声が多く寄せられました。グループごとの企画づくりを通して、多様な視点や魅力的な発想が飛び交い、「自分の区でも取り入れてみたい」「実現につなげたい」といった意欲的な感想も見られました。参加者同士が顔を合わせて語り合うことで視野が広がり、PTA活動の意義を改めて感じられる貴重な時間となりました。

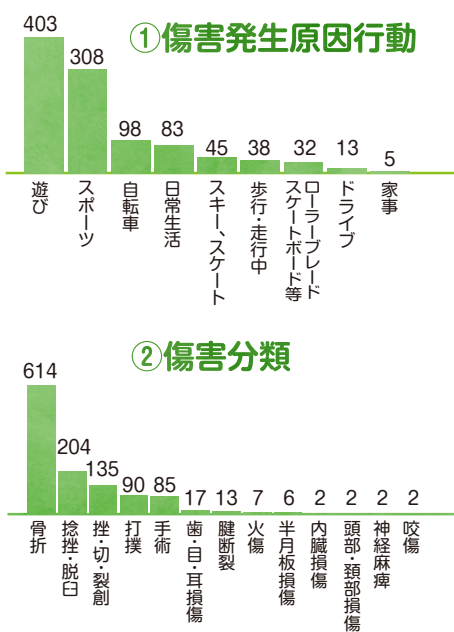
### 共済期間の変更について

令和7年度 6月1日～翌5月31日
令和8年度(移行期間) 6月1日～翌3月31日
令和9年度 4月1日～翌3月31日

○上記の表の通り令和9年度から共済期間が4月1日から翌年3月31日になります。(本年度の定時社員総会で承認されました)

○共済期間が4月始まりになることに伴い令和8年度(来年度)は移行期間となります。加入の契約に関わる諸手続き等の説明会を開催し周知を図ります。ご理解とご協力をお願いいたします。

●交通安全 交通事故は、25件でした。自転車と車の事故では、大きなけがにつながるものが多く、今年度も重大事故が発生しています。また、自転車事故では、道路の段差や溝での転倒が多くなっています。自転車を使用するにあたり、使用の開・終期をはじめ、使用範囲や時間帯、整備状況、乗り方、ヘルメットの着用など、保護者の皆様には日常的に指導していただき、子どもたちの安全に配慮していただきたいと思います。



●学童の学校管理下外 共済金給付請求件数は、1025件になりました。校種別加入数に対する割合は、園児0%、小学生約87%、中学生約13%です。また、けがの原因になった行動では、「遊び」の場が最も多く次に「スポーツ」の場となっています。左記に資料をグラフ化しました。

①(傷害発生原因行動) ②(傷害分類)

けがの内容も多種にわたり、特に骨折が著しく多く614件をかぞえ、けが全体の約52%と極めて高い比率です。

### PTA共済会から 傷害状況調査報告

学校管理下外での「けが」について、共済金給付請求分(2025年4月1日から9月30日までの)の発生件数・発生原因行動・傷害分類を報告します。



## 清田区

清田区PTA連合会では、区内の子どもの豊かな心を育み、保護者の学びにつながるユニークな企画をと考え「ミュージカル観劇(舞台裏の見学含む)」、「さわれる楽器博物館」、「区P連研修大会」、「ふれあい川柳」という芸術鑑賞と子育て支援をテーマに4つの事業を展開。その中の「さわれる楽器博物館」についてご紹介します。10月19日、ユニークな体験型イベント「さわれる楽器博物館 みて・きいて・さわって」を開催。区内在住のさわれる楽器博物館館長の井筒和幸氏のコレクションから、世界に一つしかない珍しい楽器を含む約500点を展示。井筒館長の解説も3回行い、普段はなかなか見られない楽器を、実際に親子で触ったり、弾いたり、吹いたりして、音の出る仕組みや歴史を学びながら楽しむことができました。初のイベントでしたが、子どもたちの好奇心をくすぐり、音楽をより身近に感じ、楽器にも興味を持つきっかけとなりました。



## 北区

北区PTA連合会は今年度創立40周年を迎えました。北区には10区で1番多い44の単位PTAがあり、会員数も約18,000と大所帯です。親子ふれあい事業では、夏休みにバスツアーと北区音楽会を開催しています。バスツアーは区内の中学校(14校)に集合し、今年度は円山動物園へ行きました。毎回大人気のため抽選を行っています。北区音楽会は中学校の吹奏楽部や合唱部が日頃の練習の成果を披露し、各校の交流を深めています。



## 南区

◇取り組みやすさと参加しやすさを目指し、前年度より複数回開催とした研修講座。今年度は講師に渡辺道治氏、国井美佐氏をお招きし、教育や夢の実現方法についてご講演いただきました。◇親子ふれあいホリデーでは、人形浄瑠璃あり座による公演と体験。会場の熱量と貴重な体験に、参加者は真剣な表情を見せました。◇緑豊かで自然の多い南区。来年度は茶の湯などの日本文化や芸術への造詣を深めていく活動も計画しています。



## 中央区

中央区PTA連合会の親子ふれあい事業は、40周年を記念し、フェスティバルを開催します。中央区の高校生や一般の音楽団体の方をお呼びし、音楽やダンスなど、親子で楽しめるイベントです。また、区P連の新しいロゴデザインを募集し、ロゴを一新。小学生から大人まで、たくさんの作品が寄せられました。10月24日には毎年恒例となった教育講演会を開催。グループワークをはさみ、笑いあり涙ありの充実した時間となりました。



## 東区

## 家族で楽しく発見・体験 in 科学館・水族館

8月2日に厚別区にある青少年科学館、サンピアザ水族館にて親子ふれあい事業が開催されました。当日は490名の参加者が集まり、親子で好きな所をまわって楽しんでいただきました。科学館は小学校で来たことがあっても、親子で来るのは初めての方がお子さんと色々な発見をして楽しむ姿や、水族館では魚のエサをあげる体験をして楽しむ姿が見られました。現地集合現地解散にしたことで、参加しやすく各ご家庭のペースでまわれる所が好評でした。



## 西区

西区は「～おともこどもも笑顔の花を咲かせよう～」を運営テーマに、家族で2ゲームを投げる「家族ふれあいボウリング大会」子どもたちの作品を募集した「子ども作品コンクール～未来～」創立40周年記念「大棟耕介さん講演会」を行いました。ボウリング大会は家族と一緒に楽しみながら笑顔と絆を育み、作品コンクールは交通安全部門受賞者が西警察署ご協力のもと制服姿で啓蒙活動、大棟さんの講演は心温まる素晴らしい内容でした。どの事業も、笑顔の花が咲き誇る事業となりました。



## 各区の親子ふれあい事業をご紹介します

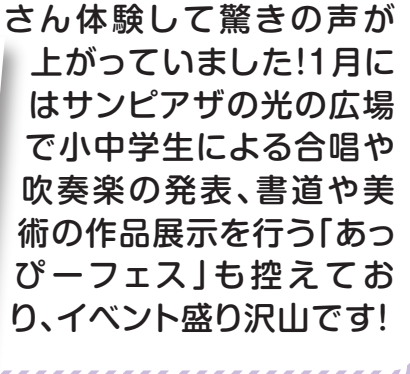
## 豊平区

豊平区P連では、今年6年ぶりに「親子自然体験DAY in 滝野」を開催。野外炊事でカレーライス作りに挑戦しました。6年前まで毎年開催されていた親子でカレーライス作りも、コロナ禍で休止せざるを得ない期間が続きましたが、今年は開催を決定。沢山の親子に参加してもらいました。まき割りやかまどに火をおこす体験など、初めての子どもたちもいましたが、まわりに気を付けながら一生懸命取り組んでいました。次々に出来上がるカレー。「外で食べるカレーは最高!」と、3杯もおかわりする子どももいました。午後にはクラフト体験「写真立て制作」を実施。午前中の炊事の様子をスタッフが写真に撮り、すぐにプリントアウトしたものを自分たちで飾りをつけた写真立てに入れて持ち帰りました。コロナ禍になり、カーリング体験など様々な事業を行いましたが、やはり豊平区の親子ふれあい事業は、滝野でのカレー作りがよいなと改めて感じました。



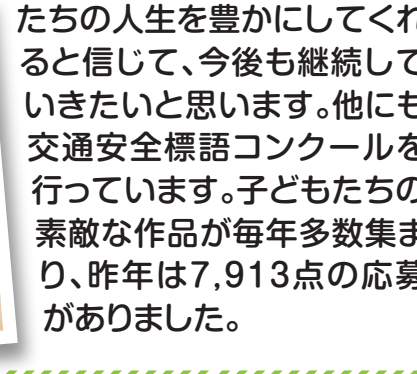
## 厚別区

サンピアザ水族館で「夜の水族館探検」を開催しました。参加者は懐中電灯を片手に、夜の魚たちの様子に見入っていました!また、新たな取り組みとして、近隣の高校・大学の科学部や企業によるイベント「進撃の科学」も開催しました。皆さん身近な不思議をたくさん体験して驚きの声が上がっていました!1月にはサンピアザの光の広場で小中学生による合唱や吹奏楽の発表、書道や美術の作品展示を行う「あっぱれフェス」も控えており、イベント盛り沢山です!



## 白石区

白石区では、平成9年から札幌コンサートホールKitaraのステージで、子どもたちが音楽活動を発表する【Kitaraで光ろう!】を開催しています。そして、招待校として19年連続白石高校吹奏楽部の皆さんも演奏してくれています。Kitaraでの経験が、これからの子どもたちの人生を豊かにしてくれると信じて、今後も続けていきたいと思っています。他にも交通安全標語コンクールを行っています。子どもたちの素敵な作品が毎年多数集まり、昨年は7,913点の応募がありました。



## 手稲区

## 「第4次手稲探検隊」

今年で4回目を迎える手稲探検隊(隊員85名)が、ディープな探検に出かけました。手稲山から望む我が町「手稲」をバックに結団式・いざ出発!手稲鉱山選鉱場跡地に立ち寄りそのダイナミックさに感動!手稲西小学校に場所を移して、今なお続く鉱山跡からの排水処理について学び、学校に常設されている資料室では、鉱山全盛期の手稲の生活にふれることができました。その後も探検隊は、熊の出没にハラハラしながら乙女の滝で大自然を感じ、前田森林公園でジンギスカンと名物大浜みやこ(カボチャ)を味わい、サッポロイカの農場を見学&試食&トラクター試乗など、ハラハラドキドキ・ワクワクな一日を過ごしました。





## 第73回 日本PTA全国研究大会 石川大会

8月22日・23日の2日間、第73回日本PTA全国研究大会石川大会が石川県内各地で開催されました。公益社団法人日本PTA全国協議会は、全国の公立小中学校の保護者と教職員から組織される日本で最大規模の社会教育関係団体です。この全国大会は、公益目的事業の最初に掲げられている項目であり、三重県で昭和28年に開催されて以降、各地持ち回りで開催されてきました。この度、73回目の本大会は「サステナブルな未来づくりのために～創造と協働を 石川から～」を大会スローガンに、全国のPTA会員の皆さんが日々のPTA活動の活性化に向けて取り組んでいる様々な事例を紹介。全大会は石川県立音楽堂コンサートホールをメイン会場とし、分科会会場をサテライト会場としてインターネット回線でつなぎ、オンラインで開催され、普段は聞けない他の地域の活動を直に聞ける貴重な機会となりました。



## 第80回 指定都市PTA情報交換会 千葉市大会

～子どもたちの未来のために、保護者・学校・地域は何ができるのか～

- と き: 令和7年9月11日(木)・12日(金)
- ところ: 千葉市生涯学習センター

全国から18の政令指定都市PTA協議会が集まり、4つの分科会に分かれて千葉市からの提言を元に話し合いました。

### 第1分科会(組織・運営)持続可能なPTA組織と運営

PTA加入率低下や活動硬直化への対応をテーマに、千葉市PTA連絡協議会を脱退した学校の元校長先生からの講演があり、その後、千葉市PTA連絡協議会の取組が共有されました。

### 第2分科会(研修活動・成人教育)今求められているPTA研修

講演では、「組織における研修課題」についてお話しいただきました。研修は視野を広げる学びと専門性を深める学びの両立が大切であること、また「共に学ぶ」という姿勢が自身を理解する基盤となることが述べられました。

### 第3分科会(地域連携)地域とPTAができる不登校対応

地域とPTAの不登校対応をテーマに、提言・事例発表・グループセッションが行われ、学校・家庭・地域の役割が議論されました。

### 第4分科会(広報・情報活動)PTAにおける広報とICT

PTAの広報・情報活動をテーマに、千葉市PTA連絡協議会のICT活用事例や各都市の先進的取組が紹介されました。

全体会では、NPO法人千葉子ども家庭支援センター副理事長宇田英弘氏による「学校教育と不登校支援をつなぐ～元校長が語る子どもたちへの支援～」をテーマに記念講演が行われました。指定都市PTAにおける共通の課題発見、及び解決に向けた検討を行うことができ、大変有意義な時間となりました。



## 第72回 日本PTA北海道ブロック研究大会 宗谷管内・稚内大会

10月4日・5日の2日間、第72回日本PTA北海道ブロック研究大会宗谷管内・稚内大会が開催されました。【てっぺんから広げよう!子育ての輪と和と話】を大会のスローガンに、未来を担う子どもたちの今とこれからの幸せを願い、学び合い、連携し合うPTAを目指して、道内各地をはじめ遠くは北九州市から多くの方が参加しました。1日目は7つの会場で様々なテーマで分科会が開かれました。2日目の全体会・記念講演では、「戦後80年を迎えて～沖縄と北海道から平和を願う～」と題し、元THE BOOMボーカルの宮沢和史さんが「島唄」の誕生秘話と、現在平和への思いを胸に活動されている様子について講演されました。中でも、島唄の演奏にも使われている「三線」について、「島唄が売れて三線を弾いてみたいという人が増えてしまい、国産で三線が作れなくなったんだよ」と職人さんから聞かされた宮沢さんは、島唄を作って良い事をしたと思っていたが、とんでもない事をしてしまったのかもしれない…。「何かできる事はないだろうか?」そんな想いから「くるちの杜100年プロジェクト」を始動させたとのお話が印象的でした。三線に使われている琉球黒檀の「くるち」を育てるプロジェクトです。くるちは成長して立派に育つまでに100年かかるとされていて、宮沢さんは、自分は生きていなくても、この木が大きくなり、三線となり、その音色が沖縄中に響いて欲しいと願いを込めて活動しています。「もし100年後、立派に育っていたとしたら、その間争いが無く、世界が平和だったという事の象徴だ」とも話され、私たちも心が強く動かされました。



## 令和8年度 札幌市文教施策に関する要望書 手交式

令和7年10月30日、札幌市教育委員会教育長室において「令和8年度札幌市文教施策に関する要望書」手交式が執り行われました。札幌市教育委員会からは、山根教育長、廣川教育次長、井上部長にご出席いただき、札幌市PTA協議会からは高原会長、林川副会長、和田総務副委員長、村田総務委員が出席しました。本要望書は、札幌市内のPTA会員の皆様より寄せられた6,782件の要望や意見を10名の総務委員で慎重に精査し作成致しました。学校環境がより良くなることを願って寄せられた声を教育行政に反映して頂けるよう、以下の項目を挙げました。

1. オンライン授業取り組み強化
2. 教職員の増員・加配・専科教員の配置
3. 支援専門スタッフの増員、相談体制強化
4. 早期のエアコン設置
5. いじめ対策強化
6. 市立幼稚園と小中学校の連携強化
7. 共働き家庭増加を踏まえた柔軟な対応



和田副委員長からの要望書の概要説明の際には、山根教育長をはじめ教育委員会の皆様が開きながら一つ一つの要望に耳を傾けて下さいました。手交式閉式後には、和やかな雰囲気での懇談が行われました。今回の要望書に対する回答書の手交式は、令和7年12月24日(水)に執り行われる予定です。札幌市PTA協議会のホームページでは、過去の要望書、回答書並びに意見書(令和5年度より、要望に至らなかったご意見も意見書として教育委員会へ提出しています)をご覧いただくことができます。

